

第22回全国中学生弓道大会 JOCジュニアオリンピックカップ大会 実施要項

1. 目的 中学校教育の一環として、中学校生徒に広く弓道競技の実践の機会を与え、技能向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、心身とも健康な中学校生徒を育成するとともに、相互の親睦を図る。
2. 主催 公益財団法人全日本弓道連盟
3. 後援（申請予定） スポーツ庁・公益財団法人日本オリンピック委員会〔JOC〕・公益財団法人日本中学校体育連盟
明治神宮・一般財団法人明治神宮崇敬会・公益財団法人日本武道館
4. 主管 東京都弓道連盟
5. 期 日 令和7年8月16日（土）・17日（日）
※公開練習は行わない。
6. 会 場 全日本弓道連盟中央道場／明治神宮武道場至誠館弓道場
〒151-8557 東京都渋谷区代々木神園町1-1
TEL：03-5302-5865
7. 競技種目 近的競技
8. 競技種類 団体競技・個人競技
9. 競技種別 男子の部・女子の部
10. 競技内容 的中制（坐射・直径36cm霰的）
11. 競技日程 8月16日 男子の部／8月17日 女子の部
各日共通
9：00～ 優勝杯・技能優秀杯 返還式
10：00～ 団体・個人 予選
予選終了後 昼食休憩
14：00～ 団体 決勝トーナメント
16：00～ 個人 決勝
17：00～ 表彰式
12. 競技方法 (1) 団体競技
 - 1) チーム編成
 - ①競技は、両種別とも3人立で行う。
 - ②チームの登録は、両種別とも監督1名、選手4名以内とし、選手の立順（行射の順番）は参加申込時の登録順とする。
 - 2) 予選
 - ①両種別とも各自4射2回にて的中数の上位16チームを決勝トーナメント進出とする。
 - ②決勝トーナメント進出の為の同中競技は、両種別とも各自1射にて、総的中数の多いチームを上位とする。
なお、1回の競技で順位が決らない場合は、順位が決定するまで繰り返す。
 - 3) 決勝トーナメント
 - ①両種別とも各自4射1回のトーナメント法で行う。
 - ②同中の場合は、両種別とも、各自1射にて、総的中数の多いチームの勝ちとする。
なお、1回の競技で勝敗が決らない場合は、勝敗が決定するまで繰り返す。
- (2) 個人競技
 - 1) チーム編成
両種別とも監督1名、選手1名とする。
 - 2) 予選
各自4射2回にて5中以上の的中者を決勝進出とする。
 - 3) 決勝
射詰競技にて順位を決定し、継続的中数の多い方を上位とする。
9本目以降は、直径24cm星的を使用する。
的中を逸した同位者は、直径36cm霰的を使用し遠近競技を行う。
ただし、最上位者（優勝者）を決定する場合は、射詰競技を継続する。
- (3) 制限時間については大会出場の手引きに記載する。
- (4) 選手監督の変更及び交代については大会出場の手引きに記載する。

13. 表彰 (1) 団体競技 (両種別共通)
- 1) 優勝チームに本連盟よりカップ (持ち回り)、賞状及びメダルを授与する。
 - 2) 2位～5位のチームに本連盟より賞状及びメダルを授与する。
(3位2チーム・5位4チーム)
 - 3) 技能優秀チームを選考し、本連盟よりカップ (持ち回り) 及び賞状を授与する。
- (2) 個人競技 (両種別共通)
- 1) 優勝者に本連盟より賞状及びメダルを授与する
 - 2) 2位～8位に本連盟より賞状及びメダルを授与する。
 - 3) 技能優秀者を選考し、本連盟より楯及び賞状を授与する。
14. 参加資格 (1) 選手及び監督は所属する都道府県弓道連盟が選抜し代表として認証を受けた者であること。
(2) 選手は当該都道府県に在住または在学中とする。
(3) 両種別とも各都道府県から団体競技は1チーム、個人競技は1名とする。
(4) 北海道は両種別とも団体競技は1チーム、個人競技は1名増を認める。
(5) 東京都は開催地参加枠として、両種別とも団体競技は1チーム、個人競技は1名増を認める。
(6) 両種別とも前年度優勝チームは、団体競技の優先出場を認める。
(7) 両種別とも前年度技能優秀チームは、団体競技の優先出場を認める。
15. 適用規則 公益財団法人全日本弓道連盟「弓道競技規則」、大会要項及び大会出場の手引きによる。
16. 参加料 団体15,000円 個人5,000円
17. 参加申込 (1) 方法
所定の様式の参加申込書を本連盟までメールで送信すること。公印は省略する。
全日本弓道連盟 → 各都道府県弓道連盟 → 参加校 (必要事項入力) → 各都道府県弓道連盟 (参加資格確認) → 全日本弓道連盟 (電子データによる申込受付完了)
・参加申込書は本連盟ホームページからもダウンロードが出来る。
・都道府県の代表となった学校 (チーム) は参加申込書の様式に必要事項を入力し、所属する各都道府県弓道連盟事務局に電子データを送信するとともに参加料を納入すること。
・各都道府県弓道連盟事務局は、取り纏めた電子データを次の(3)に示すメールアドレスに申込添書を添えて電子メールで送信すること。
(2) 注意点: 参加チームは申込に際し、所属地連の締切日に十分注意すること。
原則として各チームから本連盟に直接申し込み (送金) をせず、地連が取り纏めて行うこと。
(3) 申込先 E-mail: taikaikanri@kyudo.jp
※メールの件名を「第22回全国中学生弓道大会参加申込【都道府県名】」すること。
18. 締切日 令和7年7月11日 (金) 厳守
※但し、各地連の日程都合により間に合わない場合、個別対応する。(事前連絡要)
19. 宿泊 各自で手配すること。
20. 注意事項 (1) 本大会の団体競技優勝及び技能優秀のチームには、次回大会の参加権を与える。
(2) 大会参加にあたり、後日都道府県弓道連盟経由で配布の「大会出場の手引き」を確認すること。
(3) 弓具、服装について第3控で点検を行う。違反箇所が修正されなければ失権とする。
(4) 会場へは、公共の交通機関を利用すること。
(5) 参加者を対象に主催者で傷害保険に一括加入するが、参加者各位においてもスポーツ安全保険に加入することが望ましい。
(6) 参加者は健康保険証を持参のこと。
21. 映像の取り扱いについて
個人が撮影した画像・動画などのインターネット配信等については、撮影者において、被写体となる方の同意を得るなどして、肖像権侵害等の問題を生じないように、十分に配慮すること。
権利侵害の可能性や疑問が残る場合には、他者の権利を尊重して、撮影・配信等を中止すること。
22. その他 申込書の提出により、以後の関係資料について下記取り扱いの旨、承諾を得たものとする。
ただし、下記(2)の月刊『弓道』・ホームページへの掲載に関しては、本人より不同意の申し出があった場合は、公開を停止する。
(1) 大会プログラムならびに関係書類への記載 (氏名、所属地連、称号、段位)
(2) 大会結果報告として、地連会長宛文書及び月刊『弓道』・ホームページへの掲載 (氏名、所属地連、称号、段位、写真)
(3) 報道機関、写真業者等の写真撮影とその掲載等については、主催者は関知しない。
関係各法例を遵守する義務は、写真撮影者にあることを主張する。